

# 令和5年度 高志中学校スクールプラン

克己 創造 敬愛

福井県教育委員会

一人一人の個性が輝く、  
ふくいの未来を担う人づくり

福井県教育振興基本計画の基本理念

学校教育方針

育てほしい生徒の姿

- 1 地域社会、国際社会のリーダーとなる高い学力と豊かな人間性の育成
- 2 ふるさと福井への深い知識と大きな誇りの涵養
- 3 世界に通用する語学力と国際感覚の育成

- 1 目標を持って自ら学び、考え、行動し、自分磨きをすることができる生徒
- 2 様々な課題に立ち向かい、新しいものや考えを創り出すことのできる生徒
- 3 個性や考え方を認め合い、多様な人たちと協力することのできる生徒

業務改善のための取組

- 「定時退庁日」と長期休業中の「学校閉庁日」の継続実施
- 「早出・遅出勤務」の実施を推進
- 年休や代休を取得しやすい環境づくりの推進
- 職員会議等の効率的運用の推進

人権教育の推進

- 自己肯定感向上のための取組
- 共感能力、想像力、人間関係調整力等育成のための取組
- 互いの良さを認め合える雰囲気醸成

【重点目標1】学習支援

目標を持って自ら学習フィールドを開拓する生徒の育成と、学びの深化の支援

具体的取組

- ①興味関心のある分野について、生徒自らが学びを深めることができるための支援を行う。
- ②様々な場面において、生徒のエージェンシーを育成するための支援を行うとともに、その方法について研究する。
- ③習熟度に応じた学習支援や発展的な学習支援を通して、学習意欲を高め、深い知識と幅広い技能の習得を図る。
- ④「使える英語」の習得を目指し、4技能をバランスよく伸長する支援を行う。

目標

- ①興味関心のある事柄を見つけ、読書や調べ学習、探究活動を行った生徒 80%以上
- ②生徒が興味関心を持つ分野について、学びが深まるよう具体的な情報提供や指導を行った教員 80%以上
- ③学習意欲を高め、深い知識と幅広い技能を身につけることができた生徒 80%以上
- ④卒業時に英検準2級以上レベルに到達している生徒 100%

【重点目標2】生活支援

互いを思いやり、自ら考え、自ら律し、自分の属する集団の質を高めることができる生徒の育成

具体的取組

- ①生徒が企画・運営できる機会を増やし、生徒の主体的な参加・行動を促す体制を整える。  
・さまざまな委員会活動において、生徒が自ら学校生活をつくる機会を増やす。
- ②他学年の生徒や高校生との交流を通して、互いを認めあったり、高めあったりできるように、学校行事や部活動のあり方を工夫する。  
・中高一貫校の特長を活かした部活動を推進する。

目標

- ①生徒会活動や学級活動などで、より良い学校づくりのために自分たちで考え行動することができた生徒 80%以上
- ②学校行事、部活動や日常生活など学校生活全般において、学年・校種の枠を超えた交流により、相手を認め、自分を高められたと感じた生徒 70%以上

【重点目標3】研究支援

将来にわたって「ふるさと福井」を思い、行動しようとする生徒の育成

具体的取組

- ①地域社会やグローバル社会を多面的に理解し、発見した課題を解決しようとする態度を養うため、校内外での多様な挑戦や学年を越えた学びあいの機会を活用する。
- ②地域社会やグローバル社会の未来に貢献しようとする意欲を高めるために、「高志学」、教科、特別活動等の連携を深める。

目標

- ①「高志学」やその他の活動を通して「ふるさと福井」や社会の課題を見つけ、その解決に向けて具体的な主張を発信できた生徒 80%以上
- ②「高志学」、教科、特別活動等において、相互の関係や連携を意識した学習支援に取り組んだ教員 80%以上

【重点目標4】教育相談

自己肯定感をもって自分らしく生きることのできる生徒の育成

具体的取組

- ①教育相談担当で、気がかりな生徒についての情報共有や支援方法を検討し、支援員・スクールカウンセラーを含め全教員で協力して、対象生徒の相談・支援を行う。
- ②教育相談にかかるアンケート等を実施し、悩みや心配を抱える生徒の早期発見・対応に努める。
- ③教員や保護者対象の研修会を行い、生徒理解や気がかりな生徒の支援体制を整備し、支援の充実を図る。

目標

- ①「心の振り返りチェック」の実施 3回
- ②担当教員間で連携して教育相談・支援を行い、学級づくりや生徒支援に活かすことができたと感じる教員 80%以上
- ③生徒対象アンケートや教員研修等を通して生徒の理解が深まったと感じる教員 80%以上
- ④自分らしく学校生活を送ることができている生徒 80%以上

【重点目標5】学校教育DX推進

生徒の学びの支援や教職員の働き方改革支援の推進

具体的取組

- ①デジタル教材、アプリなどのツールを活用しながら興味関心を高め、学習領域を広げようとする生徒を育てるための方法を研究する。
- ②Googleフォームなどのツールを利用し、さまざまな場面での生徒や保護者対象の調査・アンケートを行う。
- ③デジタル採点の利用範囲を拡げ、業務の効率化を図るとともに、学習評価の多面化を検討する。

目標

- ①ICT機器等を活用して、生徒の学びを支援することが出来た教員 70%以上
- ②ICT機器等を活用して、業務の効率化や精度の高さなどに取り組むことが出来た教員 70%以上